

第26号
 2025年(令和7年)1月1日
 発行 一般社団法人
 茶道裏千家淡交会いわき支部
 いわき市平字正月町42-36
 鈴木宗恵方 ☎0246-22-8764
 編集 総務委員会

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中、会員の皆様には支部活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。当支部は昨年、創立三十周年を迎えることができました。

これもひとえに御家元様はじめ多くの先輩方、関係者の皆様方のご尽力の賜物と心から敬意と感謝を申し上げます。

特に伊藤支部長におかれましては、発足時より三十年間役員としてご指導賜りましたこと、感謝の念に堪えません。心より御礼申し



年頭のご挨拶

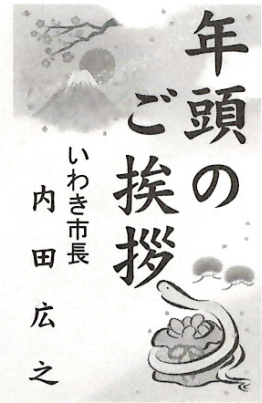
いわき支部長
村田裕之

上げます。偉大なる伊藤支部長の後任を拝するにあたり、責任の重さを実感しているところです。

さて、年始にあたって、新支部長としての抱負を申し上げます。思います。

「楽しい淡交会いわき支部！」このひと言に尽きます。会員の皆様方に「いわき支部の会員でよかった!!」と言っていただけのように力を尽くして参ります。そのためには会員の皆様方の変わらぬご理解とご協力が不可欠です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





年頭のご挨拶

いわき市長
内田 広之



令和七年の年頭にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

一般社団法人茶道裏千家淡交会いわき支部の皆様におかれましては、茶道文化の継承、発展のため、『支部茶会』や『ふだん着の茶会』の開催等を通じて、市民の皆様へ「茶道」という日本の伝統文化に親しむ機会を御提供いただき、本市の文化芸術の振興に多大な御貢献をいただいておりますことに、心から敬意を表します。

「茶道」は、古来の風習や習慣を継承し、芸術性や社交性、精神性などを融合した総合芸術であり、客人をもてなす「茶道」の精神は、他者を労わる心を育むなど、日本の「おもてなし」の精神にも繋がります。

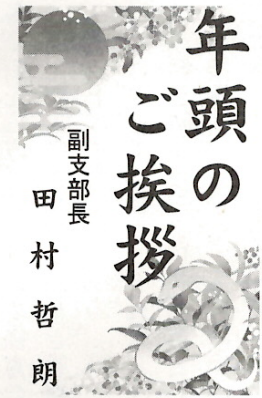
今後も茶道に携わる全ての方々

の中に、心安らかで、何物にも代えがたい充実した時間がもたらされますことを、期待申し上げます。

市といたしましては、豊かな文化に親しみ、それを未来に継承し、発展させ、誰もが誇りと愛着を持てる文化芸術のまちづくりを推進してまいります。

また、私はすべての分野においてベースになるのが「人づくり」だと考えており、今後も人の育成、人への投資に焦点を当て、「人づくり日本一」を通じて、幸福度の高いまちづくりを目指してまいります。皆様には、引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人茶道裏千家淡交会いわき支部のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



年頭のご挨拶

副支部長
田村 哲朗



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれ

ましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年元日から大きな災害で始まった、災害の多い年となりました。被災され、またいまだに避難を余儀なくされている方々に、まずはお見舞い申し上げます。

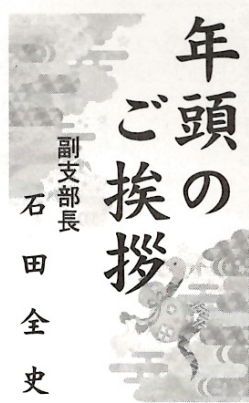
本年度から伊藤前支部長の後を引き継がれ、村田支部長がご就任なさいました。伊藤前支部長におかれましては、いわき支部設立以来のご貢献に敬意を表すとともに、ご指導に対し深く感謝いたします。

ありがとうございます。また、新しく副支部長にご就任頂きました石田さんとは、お父様の代から公私にわたり永年お付き合いいただいた中で、日本青年会議所の会

頭もご経験なされ、お家元とも近い間柄と伺っております。村田新支部長はじめ素晴らしい方々と一緒に活動できますことは、いわき支部にとって大変心強いことと思っております。

私自身も現在このように茶道とかがわらせて頂く機会を頂いていることに関し、感謝申し上げますとともに、諸先生方には、今後ともご指導頂きたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の今年一年のご健勝とご多幸をご祈念致しまして新年のご挨拶と致します。



年頭のご挨拶

副支部長
石田 全史



令和七年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

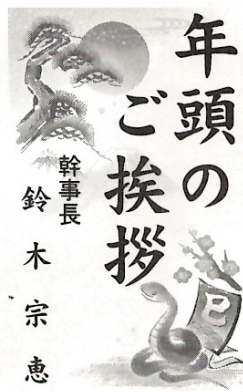
皆様におかれましては、希望を抱きお健やかに新年をお迎えのこと

とお慶び申し上げます。

昨年(元日)には、石川県西方沖を震源とした能登半島地震にはじまり九月には度重なる豪雨災害の発生など、大自然の脅威に対する人びとの無力さを改めて痛感する年となりました。お亡くなりになられました方々へのご冥福をお祈りするとともに、被災されました方々にお見舞いを申し上げます。

今から七年前に京都にある裏千家今日庵にてお家元よりお点前をいただく機会がありました。その際に感動的な体験をいたしました。門をくぐり茶室へ入り、会話の節々に東日本大震災被災地への心遣いをいただきながら、とても懐かしくも親しみのある茶碗にておもてなしを受けました。その時の茶碗は、私の出身地である浪江町に根付いてきた国の伝統的工芸品に指定されている大堀相馬焼の茶碗でございました。今でもその時の感動と驚きを覚えております。その人の背景やできる限りの心配り、そのものの価値や本質、そして人との出会いやその人と過ごす時間の大切さを学ぶ大変貴重なひと時となりました。

本年より、ご推薦を賜り一般社団法人茶道裏千家淡交会いわき支部 副支部長へ就任する運びとなりました。諸先輩方のご指導を仰ぎながら、職責を全ういたします。引き続きのご指導とともに、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



明けておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今期幹事長を仰せつかりました鈴木宗恵でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、いわき支部設立三十周年を迎えることができました。ご来賓にいわき市長内田広之様をお

迎えし、いわき出身の芥川賞作家の松村栄子先生の講演会、濃茶・薄茶席と盛大に執り行なわれまし。これも伊藤前支部長、伊東前幹事長のもとに、役員、会員の皆様が一丸となってご尽力いただき、心から感謝申し上げます。伊藤前支部長におかれましては、いわき支部発足以来、三十年にわたり、副支部長、支部長として支部に貢献されましたこと、誠に有難く感謝申し上げます。

今期、村田支部長のもと新体制でスタート致しました。

現在、コロナ感染症がようやく落ち着きをみせ、普通の日常に戻りつつありますが、これまでにない世の中の変化に驚いております。ICT(通信技術を活用したコミュニケーション)の発達やデジタル化が私達の日常を変えていきます。この大きく変わってゆく社会の中で茶の湯は、豊かな心でお互いを支えあい一服のお茶を通して心を通わせる、変わらぬ日本文化を伝承しております。

この素晴らしい文化を次世代につなげるために、小さな一歩を積み重ねて、いわき支部の発展のた

めに尽力して参ります。今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いわき支部ではホームページを開設しております。このホームページを利用して多くの情報を発信してまいります。会員の皆様には是非ともご覧いただきたいと存じます。

本年も皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。

いわき市 茶道市民合同茶会



十月六日、いわき市文化センターに於いて、いわき市茶道市民合同茶会が開催され、社中からのお手伝いとして参加しました。十月とはいえ、袷の着物を着ての立ち振る舞いは、正直少々暑く

感じられたのですが、何と云っても、今回の茶会のテーマは「秋のひとつときを」。

足を運んで下さるお客様に、少しでも秋を感じていただけるように。又、道具組や人員配置、動線等、丁寧に計画して下さった席主や役員の方々含め、今日の茶席に少しでも力になりたいと、その気持ちは十二分にあるのですが、それがなかなかうまくいかないのです。

にこやかにお茶やお菓子をお客様に差し上げようとしても顔はひ



きつり、お点前に集中しようとしても、どなたかの大切な道具を前にビクつき気味になる始末。何より感じたのは、想定外の状況に遭った時、

「臨機応変」に対処することのむずかしさ。

かくして、反省しきりの私の一日は、あっというまに終わったのでした。

と同時に、役員の方々や水屋の皆さんの働きの見事さが、とても勉強になりましたことを付しておきます。

これからも精進いたします。



令和 7 年度の主な行事予定

- 2月16日(日) 第31回(令和7年度)定期総会及び懇親会
いわきワシントンホテル椿山荘
- 4月12日(土)~13日(日) 研究会・炉
いわき産業創造館(ラトブ)
- 12日(土) 終身正会員以上
- 13日(日) 正会員以上
- 5月4日(日) 月釜茶会(佐藤宗香社中)
いわき市生涯学習プラザ茶室
- 6月8日(日) 月釜茶会(いわき青年部)
いわき市生涯学習プラザ茶室
- 6月14日(土) 研究会・風炉
いわき産業創造館(ラトブ)
- 終身師範会員以上
- 6月21日(土) ふだん着の茶会
いわき市生涯学習プラザ茶室
- 10月5日(日) いわき市茶道市民合同茶会
いわき市文化センター
- 10月18日(土)~19日(日) 研究会・風炉
いわき産業創造館(ラトブ)
- 終身正会員以上
- 11月2日(日) 月釜茶会(小松宗具社中)
いわき市生涯学習プラザ茶室
- 11月8日(土) ふだん着の茶会
いわき市生涯学習プラザ茶室
- 11月23日(日) 支部茶会
いわき産業創造館(ラトブ)

編集後記

いまは、昨年中は、能登半島におき
 まして、九月の豪雨災害と二重
 の災害に見舞われたことは、強
 い印象に残っています。

は、今年のコロ(き)の姿に生
 まれ、蛇が脱皮し新たな姿と
 変化を表現しているように、
 被災地の一日も早い復旧・復
 興を祈り、支度も新体制を
 立て、スタッフの皆様と目指して参
 ります。

いまでも、どうぞ宜しくお願い
 いたします。